



やけどをしたとき

使い捨てカイロやぬるめの湯たんぽでも、長時間あたると低温やけどになることがあるので、注意が必要です。

やけどの範囲が狭く、赤いだけで水ぶくれにはなっていない場合は様子を見て、通常の診療時間内に受診しましょう。

ただし、症状が大きく変わった場合は医療機関を受診してください。

こんなときは、医療機関を受診しましょう。

水ぶくれができています。

やけどの範囲が子どもの手のひらよりも大きい。

こんなときは、救急車を呼びましょう。

皮膚が黒く焦げていたり、白くなっている。

やけどの範囲が広範囲または全身である。

～重要～

病院の受診までは、服などを無理に脱がさず、低体温にならないように清潔なシーツなどで覆って救急車を待ってください。

症状の相談や、夜間・休日に受診できる医療機関の案内
ふなばし健康ダイヤル 24(40ページ参照) ☎ 0120-2784-37



ワンポイントアドバイス



手足などの局所のやけどは、流水や氷で 10 分以上冷やしましょう。



服などは無理に脱がさず、服の上から冷やしましょう。



水ぶくれはつぶさないように気をつけましょう。



水ぶくれが痛いときは、ガーゼをあて包帯でくるんでおきましょう。



受診するまで何も塗らないようにしましょう。

電気ケトルを倒してのやけどが多く見られます。

加熱する物は置き場所に注意をしてください。